

2022年6月15日
ジョルダン株式会社
JOR2236

**西新宿エリアでのスマートシティの実現に向けた実証実験を実施し、
ユーザー・インターフェイス等の検証に貢献
～街の賑わいを創出する地域活性化プラットフォームに「Oracle Cloud Infrastructure」を活用～**

ジョルダン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：佐藤 俊和、以下：ジョルダン）は、日本オラクル株式会社（本社：東京都港区、取締役 執行役 社長：三澤 智光、以下：日本オラクル）と協業し、2022年1月15日から3月31日まで、東京都の「令和3年度西新宿エリアにおける5Gを含む先端技術を活用したスマートシティサービス（5G等活用サービス）実証事業」における「都市と繋がる、人と街とのコミュニケーション活性化事業」推進の一環として、実証実験を実施しました。

この実証実験では、位置情報を元に西新宿エリアにログインしたかのようなアプリからの入口体験を通じて、エリア内でのイベント情報・飲食店情報を提供、ワンクリックでのルート検索や、ARを活用した標識表示、センシングによる施設の混雑状況、オンラインでの注文・決済などを検証しました。実証期間中に提供した「乗換案内・西新宿モード」は、約2,400名の多くのユーザーに利用され、スマートシティの実現に向けたユーザー・インターフェイスとしての検証に貢献しました。

ジョルダンは今後、主力サービスである経路検索に、感情や個人の希望・趣味・趣向といった「コト軸」と位置情報をかけ合わせることで、ヒト、場所、目的をつなぎ、様々な出会いや発見を創出する地域活性化プラットフォームの提供を目指します。また、この実証実験では、ジョルダンが実現を目指す、暮らしに寄り添ったMaaS（Mobility as a Service）の地域活性化プラットフォームに、日本オラクルの「Oracle Cloud Infrastructure（OCI）」を活用しています。ジョルダンは、「OCI」で構築したマッチング機能により、「人、場所、目的」をつないで様々な出会いや発見を創出し、地域交流の創造、デマンド交通の実現、災害対策などを支援していきます。

ジョルダンは、今後も日本オラクルの提供する「OCI」といったクラウド・テクノロジーを活用しながら、スマートシティの実現と社会や地域の課題解決に貢献していきます。

(参考)

関連リンク

[ジョルダン株式会社](#)

[都市と繋がる、人と街とのコミュニケーション活性化事業 \(PDF\)](#)

[日本オラクル株式会社](#)

[Oracle Cloud Infrastructure](#)

[オラクルのスマートシティの取り組み](#)

ジョルダンについて

1979年12月に設立したジョルダンは、乗換案内を中心とするソフトウェア開発や携帯コンテンツ事業を軸に、旅行業などのビジネスを展開し組み合わせることで、「移動に関する No.1 ICT カンパニー」としての地位を確立することを経営戦略として掲げています。

ジョルダンの主要サービスである「乗換案内」のスマートフォンアプリは累計 4,000 万ダウンロードを越え、多くのユーザーの「移動」をサポートしています。また、2018年7月、J MaaS 株式会社を設立し、交通サービスのプラットフォームへの参画企業を募るなど、MaaS ビジネスを積極的に展開しています。

Oracle、Java 及び MySQL は、Oracle Corporation、その子会社及び関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

本件に関するお問合せ先

【報道関係の方からのお問合せ先】

ジョルダン 広報担当
(株)VAインターナショナル
田中／後藤／西岡
TEL : 03-3499-0016
FAX : 03-3499-0017
MAIL : vai@va-intl.co.jp

【法人の方からのお問合せ先】

ジョルダン株式会社
戦略企画部 岡田／仁平
TEL : 03-5369-4051
FAX : 03-5369-4057
MAIL : m-okada@jorudan.co.jp